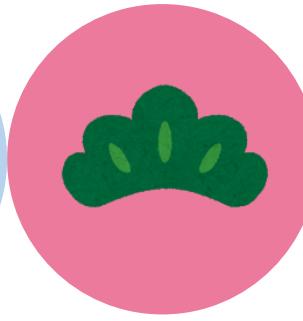
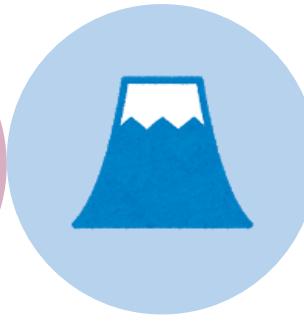
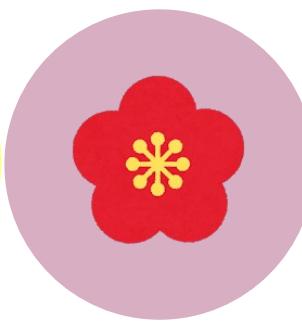




2021



社会福祉法人 京都光彩の会 光彩だより 令和3年冬号

特集記事：利用者の『新年の抱負』

…京都市朱雀工房（就労移行支援・就労継続支援B型）・ワークステーションかれん工房（就労継続支援B型）・

西山高原工作所（就労継続支援B型）・グループホーム『賀陽』『山ノ内』『光』（共同生活援助）

『ぴあHAPPINESS通信』スタートしました！

…京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

「新しい年を迎えて」

平素より、皆様には京都光彩の会の運営にご理解、ご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

二〇二一年を迎え、はや二ヶ月が経とうとしています。昨年から続く新型コロナウィルス感染症は年末年始を挟んで感染に拡がりを見せています。一月上旬に関東圏、次いで一月中旬に関西圏にも緊急事態宣言が発令され、さらに、三月七日までの延長が決まりました。私たちの身近なところでも感染者に関する情報を耳にすることが増え、落ち着かない日々を過ごしています。

昨年は、これまで経験したことのない日々の連続でした。“三密”や“ソーシャルディスタンス”も日常的に使用される言葉となり、感染防止策をとることが日常生活となつた今、感染が収束した後も果たして以前の生活に戻れるのかという不安があります。“人ごみで咳をしたら目の前の男性に睨まれた。それ以来外出するのが怖くなつた”“電車の中で少しまスクを外していると周囲の人から注意を受け、それ以来電車に乗るのが怖くなつた”：利用者の相談内容からは周囲から突き刺さる目線に大きなストレスを抱えている様子が伺えます。

私たちの仕事は利用者の声に耳を傾けることから始まります。当法人の基本理念である“利用者と「向き合い」「寄り添い」「共に考え」「共に歩む」そして誰もが人生の主役”を改めて見つめなおし、困難な状況の中でも利用者の不安や戸惑いに寄り添いながら、希望をもつて共に歩む支援者でありたいと思いま

特集記事 京都光彩の会 利用者の『新年の抱負』

各事業所メンバーの皆さんに、今年一年の抱負をお聞きしました！

京都市朱雀工房のメンバーの方の声

新年にあたり、「これから先、どんなふうになりたいか」

京
都市朱雀工房

★就労継続支援B型のメンバー

充実できる朱雀工房の業務につきたいと思います。
技能やスキルだけではない日常業務もコツコツと面白目に続けたい。

年相応の生活ですが、社会の在り方が変わった事にも注意して、恥じない社会人となることです。資本主義における私の役割を終えた事の実感と、その先の目的を見出したいと思います。

安定した生活をしたい。幻聴のことをもっと知りたい。幻聴が聞こえても流すようにしたい。愚痴をこぼさない。料理に挑戦したい。ひとを助けるような仕事がしたい。40歳~45歳までに仕事を見つけたい。朱雀工房にしっかり通っていきたい。

食生活等を見直してより良い毎日を送りたい。さらにいろいろな知識をつけたい(特にITスキルなど)。体調の波が少しでも穏やかになるよう願う。

きはら ひさかず
木原 壽一さん



うちわ絵 うめ

★就労移行支援のメンバー

ある程度、長時間睡眠になるのを改善させていく。
週5日通えるようになる。

病院へ行く以外は休まず通所して、ペースを乱したくない。
面接を受けていきたい。

薬がなくても大丈夫になりたい。就職活動を進めていきたい。面接の練習をする。

できるだけ不安に襲われないようにし、少しでもいらないことを考えないようにする。好きなパソコンを更にスキルアップし、今自分に出来るこを一生懸命する。



愛は勝つ。
愛はジュエルより全てを輝かす。
愛の戦士を目指します。
呼吸する間に愛を注げる人になりたい。
悲しみやトラブルから宇宙からの心援。
波乱万丈とんといい。
宇宙は絶対に私を困らせない。
愛は決して無くならない、みんなでどうぞ。
愛は時代に愛叫べ！
たとえ世の中が殺伐としても
心にはこの胸いっぱいの愛を。
何事も勉強×2 経験×2 歩一本歩。
体調に気をつけながら、病気に負けないで過ごす

今年の抱負

冬がどんなに寒く厳しくても必ず温かな春が訪れます。シロハナコロ梅を喜ぶ様に体調を崩し倒れても立ち上がりの意欲を持ち自分らしく元気で暮らしこのユロナ福を乗り切りたいと思います。



一変化一

時代に合わせて個人等が変わるのが必要な時代、(例)自分の事しか考えれない方が相手の気持ちになってしまえれるようになると…

自己管理

体調・支出・書類の管理を見直したい。

コロナ以外に出られない分、家のことをできるだけはあくしていまといます。

自分自身の今年の目標は「成長」です。年末年始に考えました。昨年は希望という目標で、一年頑張ってこられた。

今年も自分の中で叶えられる様頑張ります。

ワ
ークステーション
かれん工房

2021年の抱負!

1月4日に行った初会にて、メンバーのみなさんから「新年の抱負」の思いを書いてもらいました。その中の一部ですが、紹介させていただきます。



西山高原工作站



感謝

「周りの人への感謝を大事に」と兄が言っていて、自分も大事にしたいと思いました。



今年だけではなく
ずっと大事にして
いる言葉です。

文字は皆さんご自身で考えて下さいました

グループホームでは、「一年の抱負」をテーマに、入居者の方々に書初めを書いていただきました。「中学生以来やつてないなあ…」、「字は上手くないけどやつてみます」と口にされつつも、お一人お一人の個性が溢れたとても素敵な作品が出来上りました。

グ
ループホーリ
賀陽・山ノ内・光

いつも「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。



ひめHAPPINESS通信
スタートしました!

『支援センター』や『カウンセリング』は長期にわたり精神科病院に入院されている患者さんの退院支援をピアサポートーさん(同じ病気や入院などの体験がある仲間)とともに行っています。

院をされている患者さんには、
地域生活のイメージが届く
ような内容を盛り込んでい
きたいと思っています。現在
も第二号、第三号の準備も
進めており、今年度中に次
号の通信が掲載される予定
です。



打ち合わせの様子：皆真剣そのものです。

利用者大募集!!

就労 移行支援 就労 繼続支援B型

京都市朱雀工房、西山
高原工作所、ワーカス
テーションかれん工房で
は上記の利用者様を募集
しています。お気軽にご
相談ください。

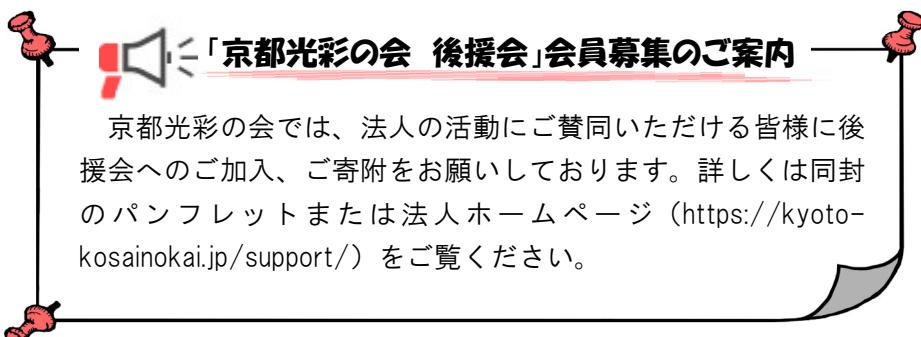
広報委員会 委員

- 中林 壮介（西山高原工作所）
中條 了（支援センター「なごやか」）
都竹 桃子（ワーカー・ステーション かれん工房）
高橋 恒明（京都市朱雀工房）
中村 美恵（支援センター「なごやか」）
松岡 芽以（グループ・ホーム 賀陽・山ノ内・光）

「ひあHAPPINESS通信」に掲載されているピアサポートセンターさんの体験談は文字数の関係等で少ししか載せられないのですが、講演等で要望に合わせてお話しただくこともさせていただいております。「依頼の方はぜひ支援センターな」「やか』(田中・高瀬)まで、「連絡お待ちしてしております。(な」「やか)

令和三年最初の光彩だよ
りは、各事業所に通う利用
者の『新年の抱負』を取り
上げてみました。不要不急
の外出の自粛をはじめマス
クや手洗いの励行など、社
会生活をする上でこれまで
とは異なる制約が求められ
ています。このような社会
で、利用者からも病気に打
ち勝ちたい・丈夫な体や健
全な生活を送りたいなど、
逆境に負けない強い志を聞
く事が出来ました。

(中林)



利用者と向き合い、寄り添い、共に考え、共に歩む そして誰もが人生の主役に



社会福祉法人 京都光彩の会

Social welfare corp KYOTO kosainokai.Inc

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30番地 京都市地域リハビリテーション推進センター 1F

TEL : 075-813-0501 FAX : 075-813-0520
URL : <http://kyoto-kosainokai.jp>



社会福祉法人京都光彩の会 光彩だより
発行:京都光彩の会 広報委員会
印刷:西山高原工作所